

## シラバス

科目名	キャリア探求		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自分の進路以外の領域に目を向け、広く社会を知る。コラボする力、多面的な視野を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業界地図に掲載されている業界(領域)の半数の業界構造、主要商品が理解できている。				
授業概要	各業界や領域のビジネスパーソン・経験者から、業界の概要、特徴、ビジネスモデル、現状と今後の展望、代表企業や関連図、他領域との繋がりなどの知識をつける。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション、授業概要説明、産業分野への理解	19	後期オリエンテーション	
	2	業界サーチ①	20	業界サーチ⑩	
	3	業界サーチ②	21	業界サーチ⑪	
	4	業界サーチ③	22	業界サーチ⑫	
	5	業界サーチ④	23	業界サーチ⑬	
	6	就職活動のヒント	24	就職活動のヒント	
	7	業界サーチ⑤	25	業界サーチ⑭	
	8	業界サーチ⑥	26	業界サーチ⑮	
	9	業界サーチ⑦	27	業界サーチ⑯	
	10	業界サーチ⑧	28	業界サーチ⑰	
	11	業界サーチ⑨	29	業界サーチ⑱	
	12	業界サーチ⑩	30	業界サーチ⑲	
	13	業界サーチ⑪	31	就職活動のヒント	
	14	業界サーチ⑫	32	業界サーチ⑳	
	15	業界サーチ⑬	33	業界サーチ㉑	
	16	業界サーチ⑭	34	自分が目指す業界サーチ①	
	17	業界サーチ⑮	35	自分が目指す業界サーチ②	
	18	前期まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	30%	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	30%	成績評価	20%	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	姉妹校プロジェクトI		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	テクノスのアセットである姉妹校との繋がりを最大限に利用し、グローバルな情報リテラシーを高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	IWやOnlineセッションの後もSNSなどで姉妹校学生と繋がり、実際の渡航・留学で対面したいと思っている。				
授業概要	前期はIWのための姉妹校研究、受け入れ準備、充実したプログラムを実施。 後期は英語キャリア科と姉妹校のセッションを計画、実行する。”				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	これまでの姉妹校プロジェクト	19	姉妹校とのセッション(AUT)	
	2	姉妹校を調べよう①	20	セッション準備	
	3	姉妹校を調べよう②	21	セッション準備	
	4	姉妹校を調べよう③	22	セッション準備	
	5	IW準備①	23	セッション準備	
	6	IW準備②	24	姉妹校とのセッション(HWS)	
	7	IW準備③	25	セッション準備	
	8	IW準備④	26	セッション準備	
	9	IW準備⑤	27	セッション準備	
	10	IW本番①	28	セッション準備	
	11	IW本番②	29	セッション準備	
	12	IW反省会①	30	姉妹校とのセッション(Pembroke)	
	13	IW 反省会②	31	セッション準備	
	14	次のプロジェクトについての計画	32	セッション準備	
	15	次のプロジェクトについての計画	33	セッション準備	
	16	セッション準備	34	セッション準備	
	17	セッション準備	35	姉妹校のセッション(Bates)	
18	セッション準備	36	まとめ		
成 績 割 合	テスト	0%	学習FB方法	年度末の成績表交付による	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート	0%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	異文化コミュニケーション I		担当者名	富手 貴子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	1. 異なる文化的背景や価値観を持つ他者を知り、異文化への興味・関心を広げ、多様な背景を持つ人々と良好なコミュニケーションを図るための能力やスキル、寛容な態度を養う。 2. 国際社会や国際ビジネス、訪日外国人に目を向け、これからの多文化共生社会における専門的職業人としての素養				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 異文化や国際社会に興味・関心をもって、寛容な心と態度で柔軟に対応するとともに、自分の意見を発信できるコミュニケーション力を身につけている。 2. 異文化コミュニケーションや訪日外国客接遇の基礎的な知識を習得し、それらの意義を理解し、自身のキャリアへの				
授業概要	1. 国家間や人種の違いだけでなく世代や立場の違いなどを文化差と捉え、異文化摩擦の原因や対処法の理論を理解するのみならず、体験的に身に付けていくことができるように、具体的な異文化接触場面の事例を取り上げ、ディスカッションやアクティビティなどの活動を行う。この活動の過程で、異文化トレーニングの手法や、効果的なコミュニケーションの方法を学び、実践する。 2. 国際的な話題(国内外の動向や社会問題、経済やビジネス、旅行・観光やポップカルチャーなど)に幅広く触れ、国				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	訪日外国人旅行者接遇の基礎②	
	2	オリエンテーション②	20	訪日外国人旅行者接遇の基礎③	
	3	異文化コミュニケーションとは①	21	異文化コミュニケーション・トレーニング①	
	4	異文化コミュニケーションとは②	22	異文化コミュニケーション・トレーニング②	
	5	異文化コミュニケーションとは③	23	アイデンティティ①	
	6	異文化コミュニケーションとは④	24	アイデンティティ②	
	7	コミュニケーション・スタイル①	25	グローバル・コミュニケーション①	
	8	コミュニケーション・スタイル②	26	グローバル・コミュニケーション②	
	9	ものの見方を広げる①	27	多文化共生ワーク②	
	10	ものの見方を広げる②	28	国民文化①	
	11	異文化コミュニケーション・スキル①	29	国民文化②	
	12	異文化コミュニケーション・スキル②	30	国民文化③	
	13	多文化共生ワーク①	31	日本の話題・世界の話題①	
	14	言語・非言語コミュニケーション①	32	日本の話題・世界の話題②	
	15	言語・非言語コミュニケーション②	33	日本の話題・世界の話題③	
	16	発表準備	34	まとめ	
	17	発表&フィードバック	35	期末試験	
18	訪日外国人旅行者接遇の基礎①	36	振り返り		
成績割合	テスト	<small>40%</small>	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	<small>20%</small>	成績評価	授業への出席、ワークやアクティビティの参加度、態度、提出物、テスト、小テスト、発表等で総合的に評価する。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>80				
講師プロフィール	前職ではグローバルIT企業のコーポレート戦略統括本部にてインターナル・コミュニケーション、前々職では大手日系IT企業にて全社グローバル人材育成施策の企画・運営、研修設計・開発を担当。 20代前半から海外に計15年間滞在。オーストラリアではツアーガイドとしてトップセールス、カナダでは現地ホテル勤務の				

## シラバス

科目名	スペイン語 I		担当者名	アラウコ サイラ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	スペイン語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	スペイン語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。				
授業概要	単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	第9課(動詞・形容詞)	
	2	オリエンテーション②	20	第10課(固有数詞)	
	3	オリエンテーション③	21	復習	
	4	第1課(名詞+です) 自己紹介	22	第11課(過去形)	
	5	第1課(名詞+です) 第2課(名詞+ですの否定文)	23	第11課(過去形)	
	6	第2課(名詞+ですの否定文)	24	第11課(過去形)	
	7	第3課(こ・そ・あ、名詞+です)	25	第12課(敬語表現—現在)	
	8	第3課(こ・そ・あ、名詞+です、否定文)	26	第13課(敬語表現—過去形)	
	9	第4課(ある、いる)	27	第12課(敬語表現—現在) 第13課(敬語表現—過去形)	
	10	第4課(ある、いる) 第5課(位置を表す表現)	28	文型	
	11	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現	29	文型	
	12	第6課(動詞・形容詞)	30	テスト対策、予備日	
	13	第6課(動詞・形容詞)	31	テスト	
	14	第7課(動詞・形容詞の否定文)	32	テスト振り返り	
	15	テスト対策、予備日	33	まとめ	
	16	第8課(数詞)	34	振り返り	
	17	第9課(動詞・形容詞)	35	振り返り	
18	第9課(動詞・形容詞)	36	振り返り		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	韓国語 I		担当者名	李尚炫	
学科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	韓国語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	韓国語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。				
授業概要	韓国語の文字の仕組みを理解した上で単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。 テキスト：新大久保語学院, 李志暎『新装版 できる韓国語 初級I』2010, DEKIRU出版				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 文字の文字と発音-文字の成り立ち, 基本母音	19	第9課(動詞・形容詞の「ヨ体」)	
	2	文字の文字と発音-子音、平音・激音・濃音 文字の文字と発音-パッチム	20	第10課(固有語数詞)	
	3	文字の文字と発音-合成母音	21	第8課(漢字語数詞)、第10課(固有語数詞)	
	4	第1課(名詞+です「입니다」) 自己紹介	22	第11課(過去形)	
	5	第1課(名詞+です「입니다」) 第2課(名詞+ですの否定文「이/가 아닙니다」)	23	第11課(過去形)	
	6	第2課(「名詞+です」の否定文)	24	第11課(過去形)	
	7	第3課(こ・そ・あ、名詞+ですの「ヨ体」)	25	第12課(敬語表現-現在)	
	8	第3課(こ・そ・あ、名詞+ですの「ヨ体」、その否定文)	26	第13課(敬語表現-過去形)	
	9	第4課(ある・いる「있습니다/없습니다」) (ある・いる「있어요/없어요」)	27	第12課(敬語表現-現在) 第13課(敬語表現-過去形)	
	10	第4課(ある・いる「있어요/없어요」) 第5課(位置を表す表現)	28	韓国語文型の3つのグループ	
	11	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다」)	29	テスト対策、予備日	
	12	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다」)	30	テスト返し/振り返し	
	13	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다」)	31		
	14	第7課(動詞・形容詞の否定文)	32		
	15	テスト対策、予備日	33		
	16	第8課(漢字語数詞)	34		
	17	第9課(動詞・形容詞の「ヨ体」)	35		
18	第9課(動詞・形容詞の「ヨ体」)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール	一橋大学大学院 言語社会研究科 博士課程修了				

## シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	英語力を生かし、社会で活躍するためには何をすればよいかを自ら探るように導く。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語資格やコミュニケーションなどの専門力、互いを思い助け合える人間力、自発的に行動し視野を広げ、自身の可能性を信じ勇気を出して動ける総合力を身につけることも目標とする。				
授業概要	グループワークやイベントを通しチームワークを築き上げ、発表やプレゼンテーションを重ねることで個人としての自信をつける。 英語という専門力を武器に、就職活動に向けて意識を高める。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	学院祭準備③	
	2	クラス運営	20	学院祭準備④	
	3	英語スキル(英語勉強法)	21	学院祭準備⑤	
	4	ビジネススキル①(チームミーティング)	22	就活準備③(求人探し方)	
	5	就活準備①(ドレスアップ)	23	就活準備④(求人探し方)	
	6	クラス交流①	24	就活準備⑤(志望動機)	
	7	キャリアデザイン②(ライフプラン)	25	就活準備⑥(志望動機)	
	8	就活準備②(業界研究)	26	ビブリオバトル	
	9	ゲストスピーカー	27	冬期休暇について	
	10	ビジネススキル②(チームビルディング)	28	就活準備⑦(ESの書き方・就活マナー)	
	11	キャリアデザイン③(ビジョン)	29	就活準備⑧(ESの書き方・就活マナー)	
	12	クラス交流②	30	就活準備⑨(自己PR)	
	13	キャリアデザイン④(職業探求)	31	就活準備⑩(グループディスカッション)	
	14	ビジネススキル③(夏季休暇振り返りスピーチ)	32	就活準備⑪(自己PR)	
	15	学院祭準備①	33	就活準備⑪(グループディスカッション)	
	16	就活準備③(働くとは)	34	就活純義⑫(面接練習)	
	17	後期開始に向けて	35	就活準備⑬(面接練習)	
18	学院祭準備②	36	1年の振り返り		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	個人面談およびWebポータルにてFBを行う。
	学習態度・出席率		70%		
	レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	パソコン実習 I		担当者名	千葉 輝子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する)</li> <li>・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)</li> <li>・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける</li> <li>・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける</li> </ul>				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画	
	2	ガイダンス	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	ガイダンス	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	科目ガイダンス 各自のPC環境整備	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	5	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	6	文字入力の基本	24	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	10	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	11	ビジネスメール課題	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	12	表作成の基本	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	後期復習問題	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	期末試験	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

## シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	ビジネスパークにおける英会話教室実践 学んだ専門知識を活かし、子供たちに楽しく英語を教える 地域の方との交流を深める				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テクノスポーツで参加者を松用事を対象に英語教室を開催し、顧客の満足度を高め、収益にも興味を持つようになる				
授業概要	前期は準備期間として、ビジネスパークの意義・起業の基礎・テクノスポーツのモデルケースを参考にして計画を立てる。 後期からは本格稼働し、指導・運営・広報に分かれてビジネスを展開する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	2	大手英会話学校を徹底的に調べよう!(すべての対象者)	20	振り返りと次回準備	
	3	大手英会話学校を徹底的に調べよう!(未就学児)	21	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	4	テクノスポーツに学ぶ(スポーツ学生)	22	振り返りと次回準備	
	5	テクノスポーツに学ぶ(米林先生)	23	ビジネスパーク・英語教室開催	
	6	指導・運営に必要なことの復習	24	振り返りと次回準備	
	7	英語教室に必要なこと①	25	ビジネスパーク・英語教室開催	
	8	英語教室に必要なこと②	26	振り返りと次回準備	
	9	英語教室に必要なこと③	27	ビジネスパーク・英語教室開催	
	10	英語教室に必要なこと④	28	振り返りと次回準備	
	11	こどもの扱い方とは	29	ビジネスパーク・英語教室開催	
	12	こどもの接し方・保護者対応について(亀山先生)	30	振り返りと次回準備	
	13	英語教室構想①	31	ビジネスパーク・英語教室開催	
	14	英語教室構想②	32	振り返りと次回準備	
	15	チラシ作成	33	ビジネスパーク・英語教室開催	
	16	配布・保護者へのアプローチ	34	振り返りと次回準備	
	17	授業内容調整・部屋や小物準備①	35	1年間のまとめ①	
18	授業内容調整・部屋や小物準備②	36	1年間のまとめ②		
成績割合	テスト		学習FB方法	年度末の成績表交付による	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					



## シラバス

科目名	Current Events I		担当者名	CHAN ERNEST	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	learn how to talk about current news and form opinions				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability and confidence to give opinions on current events				
授業概要	read news articles, grammar, vocabulary, discussion points and debate, Breaking News English				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1		19		
	2		20		
	3		21		
	4		22		
	5		23		
	6		24		
	7		25		
	8		26		
	9		27		
	10		28		
	11		29		
	12		30		
	13		31		
	14		32		
	15		33		
	16		34		
	17		35		
18		36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25 R<<実働実践型学習>>25 A<<主体的参加型学習>>25 G<<海外体感型学習>>25				
講師プロフィール	Instructor is Canadian. He has been teaching English for 13 years.				

## シラバス

科目名	TOEIC I		担当者名	鈴木 良	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	英語のリスニング、リーディング、ボキャブラリーの基礎をもう一度復習し、英検準2級、または3級に合格し、TOEIC 400点以上を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	10月の英検準2級に合格する。 12月または1月の TOEIC ではリスニング 250(100問中約55問正解)、リーディング 150(100問中約40問正解)を取得できるようにする。				
授業概要	実際の検定試験に近い問題を使用し、演習を行う。基礎的な単語を身につけるため、毎回単語小テストを行う。また英語学習に対するモチベーションを維持するため、問題に絡めて様々なアクティビティーを行う。学習効果を最大限に高めるためには、毎週の単語テストの準備を疎かにせず、しっかり宿題を行い次の授業への準備を行い、授業後は解いた問題を自分で復習することが極めて大事である。				
授業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	授業の説明・目標、英検：対話完成問題	19	英検：模試(筆記、リスニング)	
	2	英検：対話完成問題、リスニング	20	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U1「人物の描写」、ドリル「接続詞」	
	3	英検：対話完成問題、リスニング	21	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) Challenge 2、ドリル「前置詞」	
	4	英検：長文穴埋め、長文問題、リスニング、ライティング	22	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U4「Part 2 における質問の種類」、ドリル「態」	
	5	英検：語彙問題、リスニング	23	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U5「WH 疑問文」、ドリル「動名詞」	
	6	英検：長文問題、リスニング	24	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U9「Society & Life」Conversation A、ドリル「不定詞」	
	7	英検：長文穴埋め問題、リスニング	25	プラクティス(旧) (リスニング) U9「Society & Life」Conversation B & C、ドリル「使役動詞」	
	8	英検：模試(筆記)、TOEIC：主述の一致	26	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U12「Telephone Messages」Talk A、ドリル「自動詞・他動詞」	
	9	英検：模試(リスニング)、TOEIC：品詞	27	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U12「Telephone Messages」Talk B & C、ドリル「比較」	
	10	予備 (IW)	28	TOEIC：プラクティス(旧) (リスニング) U2「物の描写」、ドリル「関係詞1(関係代名詞)」	
	11	予備 (IW)	29	TOEIC：模試(リスニング)、ドリル「関係詞2」	
	12	英検：模試の復習、TOEIC：ドリル「品詞の役割」	30	TOEIC：模試(リーディング)	
	13	英検：模試の復習、TOEIC：ドリル「代名詞」	31	TOEIC：プラクティス(旧) U10「Workplace & Business」Conversation A、ドリル「仮定法」	
	14	英検：模試の復習、TOEIC：ドリル「現在形・現在進行形」	32	TOEIC：ドリル「分詞」、ドリル「その他」	
	15	英検：模試の復習、TOEIC：ドリル「過去形・現在完了形」	33	まとめ①	
	16	まとめ①	34	まとめ②	
	17	まとめ②	35	まとめ③	
18	前期期末試験、TOEIC：ドリル「未来のことを表す表現」	36	後期期末試験		
成績割合	テスト		学習FB方法	Microsoft Teams	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	30%	成績評価	Microsoft Teams	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テストスコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

## シラバス

科目名	TOEIC I		担当者名	鈴木とも子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	TOEICの学習を通して、自然な英語に慣れ、英語の基礎力、理解力を高める事、また、TOEICのスキルを通して効率よく情報処理を行うコツを身に着ける事。実際のTOEICテストに最も近い、公式問題集のL&R7を前期に、L&R9を後期に使用、他のバージョンの公式問題集も取り入れ演習を多く行っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEICスコア700点突破を目標に、学習法を身に着ける事で、更に自習でスコアを伸ばすことが出来る様になり英語でビジネスが出来る為の基礎力を養う事が出来る様になる事				
授業概要	ピッチ調整をした音声での、遅聴、速聴、シャドウイングを行う事で、脳の音声処理の機能を鍛えるトレーニングを行う。発音、リテンション(音声記憶保持)の改善から、英語の音声がかえ、理解できる様に指導する。また、TOEICの語彙を確認しながら、沢山の問題に慣れる事で、英語の情報処理のスピードを高める様に指導を行う。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	19	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	
	2	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	20	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	
	3	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	21	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	
	4	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	22	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	5	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	23	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	6	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	24	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	7	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	25	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	8	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習と part6 Reading問題演習。	26	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	9	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習と part6 Reading問題演習。	27	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	10	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	28	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	11	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	29	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	12	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	30	L&Rの復習 後期学期末テスト&カウンセリング	
	13	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	31		
	14	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	32		
	15	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	33		
	16	前期期末試験&学習カウンセリング	34		
	17	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	35		
18	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	36			
成績割合	テスト		学習FB方法	期末テストの際、カウンセリング時間を一人ずつ設け、同時に待ち時間で感想と目標を書いて貰っている。	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(主な指導経験) TOEIC学習法セミナー、TOEICスコアアップセミナー、SWセミナー等の英語セミナーを、楽天、KDDI、NTT、東レ、日産、富士通、日立、電通、日本工営、みずほコーポレート銀行で、また、立教大学、法政大学、明治大学、武蔵野大学、立正大学、西武文理大学等の教育機関でも、TOEICスコアアップ指導を行って来ました。				

## シラバス

科目名	Business Writing I		担当者名	柳町 啓介	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	実務に使われる様々なタイプの英文ドキュメントを作成し、ビジネスで必要とされる英語のライティング力と情報処理能力を高めることを目的としている。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語のビジネス文書で頻繁に使用される語彙を習得している。与えられた条件に沿ったビジネス文書を仕上げられる。また英文の履歴書とそれに添付する英文カバーレターを作成できる。				
授業概要	英文ビジネス文書の構成と基本的なルール、定型表現について学んだ後、英文履歴書、レター、電子メールなど、さまざまなタイプの英文ドキュメントをコンピューターで作成する。繰り返し練習することで、ビジネスに特有の表現や語彙、フォーマットをマスターすることを目指す。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	自己紹介、日本人に合った英作文習得法	19	Thinking about Writing	
	2	5つの文型(1,2,3文型)	20	Introducing	
	3	5つの文型(4,5文型)	21	Completing Forms	
	4	Job Hunting	22	Thanking	
	5	The First Day of Work	23	Requesting Information	
	6	Writing Email	24	Getting Details	
	7	Greeting a Visitor	25	Inviting and Arranging to Meet	
	8	Explaining a Corporate Profile	26	Making and Changing arrangements	
	9	Deciding on a Date for a Meeting	27	Giving Directions	
	10	Attending a Meeting	28	Dealing with Problems	
	11	Dealing with Complaints	29	Describing	
	12	Getting Ready for an Overseas Business Trip	30	Giving an Opinion and Recommending	
	13	Gathering Information for a Presentation	31	Writing about a Vacation	
	14	Writing a Presentation Draft	32	Writing about an Interest	
	15	Travelling Abroad for the First Time	33	Applying for a Job	
	16	Giving a Presentation 1	34	Writing a Resume 1	
	17	Giving a Presentation 2	35	Writing a Resume 2	
	18	Expressing Gratitude	36	Writing a cover letter	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	英国の大学院修士課程修了後、米国外資不動産企業勤務。不動産市場アナリストとして四半期毎に世界に向けて多岐にわたる英文の不動産市場レポートを執筆、海外投資家に向けて英語による不動産セミナーに定期的に登壇。				

シラバス

科目名	Public Speaking I		担当者名	飯野 知子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必修		
授業目的	朗読・スピーチ・プレゼンテーション等を行うことにより、人前で話す方法を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語でプレゼンテーションを行う能力と自信を養う。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の1限は、基本動作を習得し、応用する(通る声の出し方、発音、感情表現・イントネーション、スピード・リズム、アイコンタクト、ジェスチャー、ボディランゲージ等)一度紹介した基本動作を必要に応じて反復練習</li> <li>・絵本や詩の朗読、紙芝居の作成、リサーチを伴うスピーチ・プレゼンテーション(パワーポイント付)等の実施</li> </ul>				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	腹式呼吸および通る声の出し方の練習、母音の発音、リズム 自己紹介スピーチの内容確認	19	映像予告編Voice Over発表 スピーチ⑥アウトライン	
	2	母音の発音、声で感情表現 自己紹介スピーチ発表、絵本の原稿確認	20	ニュース番組、内容確認・確定、役割分担 スピーチ⑥原稿チェック	
	3	スピーチ② 絵本朗読の役割分担、練習	21	ニュース番組、原稿ドラフトのコメント説明 スピーチ⑥発表	
	4	母音(i/e)の発音、話す速さ・ポーズ(pause)の使い方 絵本の朗読(発表)	22	ニュース番組(発表)	
	5	母音(e/a)の発音、スピーチ③アウトライン 紙芝居の題材決定、内容確認	23	スピーチ⑦アウトライン Listening(書き取り)	
	6	母音(o)の発音、アイコンタクト、スピーチ③原稿チェック 紙芝居原稿のコメント説明	24	台本作成 スピーチ⑦原稿チェック	
	7	母音(a/i)の発音、スピーチ③発表 紙芝居作成、練習	25	台本に基づくacting練習、発表	
	8	子音(b/v/f)の発音、アイコンタクト 紙芝居発表	26	スピーチ⑦発表	
	9	子音(s/sh)の発音、スピーチ④アウトライン 詩の作品紹介、内容確認	27	後期末プレゼンテーションに向けて:プレゼン地域決定、内容確認、リサーチ方法、グーグル・マップの使い方等	
	10	子音(t/th/s)の発音、ボディランゲージ 詩の朗読練習、スピーチ④原稿チェック	28	後期末プレゼンテーションに向けて:リサーチ Q1 コメントの説明(個別指導)	
	11	子音(r/l)の発音、ジェスチャー 詩の朗読発表	29	後期末プレゼンテーションに向けて:リサーチ Q2 コメントの説明(個別指導)	
	12	子音(d/th)の発音 スピーチ④発表	30	後期末プレゼンテーションに向けて:リサーチ Q3 コメントの説明(個別指導)	
	13	子音(wh)の発音 前期末プレゼンテーションのトピック詳細確定、リサーチ	31	後期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明(個別指導)	
	14	子音(ck/g)の発音 前期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明(個別指導)	32	後期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明2(個別指導)	
	15	子音(m/n)の発音 前期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明2(個別指導)	33	後期末プレゼンテーション・パワーポイントのコメント(個別指導)	
	16	子音(t/d)の発音 前期末プレゼンテーションの内容・デリバリー最終チェック(個別指導)	34	後期末プレゼンテーション・パワーポイントの内容・デリバリー最終チェック(個別指導)	
	17	前期末プレゼンテーション(質疑応答、フィードバック)	35	後期末プレゼンテーション発表(質疑応答)	
	18	子音(n/ng/nk)の発音 映像予告編Voice Overの内容確認・練習	36	プレゼンテーションのフィードバック	
成績割合	テスト		学習FB方法	課題はTeams上でコメントし、更にコメントの内容を個別に説明 プレゼンテーション等実施直後にフィードバック	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	25%(クラス発表)	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	海外生活16年。小学生の時にロンドンで、詩の暗唱を学ぶクラスに通う。中学、高校、大学で(英語)演劇部に所属。角川書店発売の「スヌーピーのおもしろ英語ランド」カセットテープ全10巻で、ルーシー役およびナレーターとして出演。				

## シラバス

科目名	Intercultural Comm. I		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	learn about other cultures from around the world				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to empathize with other cultures and share ideas				
授業概要	countries, geography, culture, daily life, religion, racism, stereotypes, family, similarities with Japan				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	icebreakers	19	comedy	
	2	canada	20	other religions	
	3	guatemala	21	own country	
	4	cuba	22	editorial pics	
	5	dominican republic	23	racism	
	6	peru	24	stereotypes	
	7	morocco	25	dating	
	8	spain	26	family	
	9	france	27	country profile project	
	10	australia	28	country profile project	
	11	hong kong	29	country profile presentation	
	12	taiwan	30	country profile presentation	
	13	korea	31	essay writing about differences	
	14	judaism	32	essay writing about differences	
	15	christianity	33	essay writing about differences	
	16	islam	34	make a kahoot	
	17	movies	35	make a kahoot	
18	review test	36	review test		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	
	学習態度・出席率		20%		
	レポート		80%	成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	英会話 I B		担当者名	G.McArdle, P.Ripley	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティ、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	英会話 I A		担当者名	G.McArdle、スラヤ タスノバ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	Purpose of the classes: to learn basic and everyday conversation in English.				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	lesson goal (learning Outcomes): students will able to learn the language that people really use. Activities include a strong focus on inductive learning, personalized practice, and encouraging learner autonomy. Touchstone 2 (Odds lessons :1, 3,5,7,9 and 11				
授業概要					
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Icebreaking and explanation of lessons and evaluation method	19		
	2	Ask questions to get to know classmates	20	Talk about getting ready for a trip using infinitives	
	3	Talk about favorite things, using too and either	21	Talk about things to take on a trip	
	4	Starting conversations with people we don't know	22	Respond to suggestions	
	5	Read an article about small talk	23	Read an article about unique hotels	
	6		24		
	7	Talk about exercise and how to stay	25	Tell anecdotes about things that went wrong using the past	
	8	Discuss common health problems	26	Talk about accidents	
	9	Comment and ask follow up questions	27	React to show interest with expressions like oh, no!	
	10	Read an article about staying healthy	28	Read anecdotes in an article	
	11		29		
	12	Talk about growing up and your family	30	Describe people's appearance using adjectives	
	13	Talk about school subjects	31	Identify people by their appearance, actions or location	
	14	Correct things you say with expressions like well, actually, no	32	Using expressions like what do you call?	
	15	Read an interview with someone about his teenage years	33	Read an article about fashion	
	16		34		
	17		35		
18		36			
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール					



## シラバス

科目名	Grammar I		担当者名	モース エミリー	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	The goal of this course is to build an understanding the basics of English grammar.				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Our objectives are to learn to produce accurate English sentences through writing and to also learn to product accurate sentences through speech.				
授業概要	We will be using English for Everyone: English Grammar Guide and the accompanying workbook to learn grammar points and practice making sentences. This course will also contain occasional short writing assignments where students are expected to use a particular grammar point in their writing.				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Introduction/Simple Present	19	The Present for the Future Events	
	2	Present Simple Negative	20	The Future Continuous	
	3	Present Simple Questions	21	The Future Perfect	
	4	Present Simple Continuous	22	The Future in the Past	
	5	Present Simple Overview/Quiz	23	Future Overview/Quiz	
	6	Imperatives	24	The Passive	
	7	The Past Simple	25	The Passive in the Past	
	8	The Past Simple Negative	26	The Passive in the Future	
	9	Past Simple Questions	27	The Passive with Modals	
	10	The Past Continuous	28	Other Passive Constructions	
	11	The Present Perfect Simple	29	Conditional Sentences	
	12	The Present Perfect Continuous	30	Final Test	
	13	The Past Perfect Simple	31		
	14	The Past Perfect Continuous	32		
	15	"Used to" and "Would"	33		
	16	Past Tenses Overview/Midterm Test	34		
	17	The Future with "Going to"	35		
18	The Future with "will"	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表を配布	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	I was born and raised in Maine, USA. I went to Bates College where I earned a degree in East Asian Studies: Japan Tract, a minor in Japanese, and a GEC in Premodern History. In my third year, I studied abroad in Kyoto at Doshisha University, where I first tried teaching English. When I finished my degree, I moved to Tokyo and worked as an ALT at Technos. When I finished my internship, I began working as a native teacher at an English Conversation School. I now				

## シラバス

科目名	文章表現 I		担当者名	瀬戸口 仁	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	文章力を身につけ、仕事や日常生活を豊かなものにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自分のエピソードを入れることによって、人に読んでもらうための文章を書けるようになる。				
授業概要	テーマにそって書くことで文章力をつけ、発表することでプレゼンテーション能力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	文章とは	19	先延ばししない	
	2	努力	20	非常識	
	3	限界	21	プロ意識	
	4	油断	22	成長	
	5	挑戦	23	基本	
	6	失敗	24	忍耐力	
	7	妥協	25	極限	
	8	恩師	26	成功	
	9	敗戦	27	魔法の言葉	
	10	目標	28	魔法の言葉	
	11	悩み	29	人間関係構築力	
	12	前期期末試験	30	人間関係構築力	
	13	失敗	31	コミュニケーション術	
	14	不足	32	コミュニケーション術	
	15	磨く	33	メダリストたちの言葉	
	16	一生懸命	34	メダリストたちの言葉	
	17	諦めない	35	後期期末試験	
	18	必殺技	36	まとめ	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業の終わりに質問を受け付ける	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79 C60～69 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において十分な教育経験を有し、大学での指導経験を有す。				

## シラバス

科目名	ホスピタリティサービス		担当者名	池亀 満枝	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。				
授業概要	人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	謙譲語 I、謙譲語 II	
	2	ホスピタリティとは、サービスとホスピタリティ	20	使い分け・誤用	
	3	マズローの欲求段階説	21	相手に配慮して伝える(依頼、断りの丁寧な伝え方)	
	4	顧客満足とホスピタリティ	22	相手に配慮して伝える(お詫びの丁寧な伝え方)	
	5	ジョハリの窓	23	違和感を与える表現・信頼感を損ねる口癖	
	6	ストローク	24	好感の持てる話し方	
	7	メラビアンの法則	25	感じの良い聴き方	
	8	人間関係の基本、明るい挨拶・さわやかな返事	26	会話を弾ませるテーマ選び	
	9	挨拶ことば	27	マナーとエチケットの違い、礼儀作法の意味、プロトコールとは	
	10	おしゃれと身だしなみの違い、制服の効果	28	冠婚葬祭とは、冠婚葬祭の意味と行事	
	11	身だしなみワークシート	29	慶事のマナー	
	12	いきいきとした豊かな表情、表情訓練	30	慶事のマナー	
	13	目から入る言葉＝態度	31	祝儀・不祝儀袋	
	14	立ち居振る舞い、基本動作、応用動作	32	弔事のマナー	
	15	敬語の種類	33	食事のマナー	
	16	丁寧語・美化語・改まり語	34	試験	
	17	試験	35	試験解説	
18	尊敬語	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	課題、レポート	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>10 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。				

## シラバス

科目名	Interview English		担当者名	P.Ripley	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPTの効果的な作り方も体得する				
授業概要	モデルプレゼンテーションのプレゼンテーション 個人のプレゼンテーション リサーチのチェックとプレゼンテーションの準備 プレゼンテーションの練習とコメント 前期・後期での最終プレゼンテーション				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	モデルプレゼンテーション1:効果的にプレゼンテーションをする方法	19	Opening(冒頭部)	
	2	モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機	20	Check opening(冒頭部チェック)	
	3	アイデアの整理:アイデア出しのチェック	21	モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示	
	4	アイデアの整理:概要のチェック	22	Body 1(本文1)	
	5	Opening: GRAB(出し:GRAB)	23	Check body 1(本文1チェック)	
	6	GRAB Check(GRABチェック)	24	Body 2(本文2)	
	7	Opening check(出しチェック)	25	Check body 2(本文2チェック)	
	8	Body introduction(本文の導入)	26	モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくり	
	9	Body check(本文チェック)	27	Conclusion(締めくり)	
	10	Body check(本文チェック)	28	Final check(最終チェック)	
	11	Conclusion introduction(締めくり導入)	29	Presentations 1(プレゼンテーション1)	
	12	Conclusion check(締めくりチェック)	30	Presentations 2(プレゼンテーション2)	
	13	Final check(最終チェック)	31		
	14	Presentations 1(プレゼンテーション1)	32		
	15	Presentations 2(プレゼンテーション2)	33		
	16	モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部	34		
	17	Check brainstorm(アイデア出しチェック)	35		
18	Check presentation outline(プレゼンテーション概要 チェック)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>40%				
講師プロフィール	エアカナダで客室乗務員として活躍後、英語教育やコンサルタント業に携わる。接客業の経験を踏まえた講義は、就職活動にとって非常に有意義である				

## シラバス

科目名	Debate		担当者名	Jina McCullough	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	The purpose of this class is to introduce students to the skill of debating issues in English. Students learn the proper way to argue their beliefs and opinions in English. このクラスの目的は、英語で問題を討論するスキルを学生に紹介することです。学生は自分の信念や意見を英語で主張する適切な方法を学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to improve the English speaking skills of the students by expanding their knowledge of English grammar and vocabulary. Students will be able to have conversations in more fluent English. このクラスの目標は、英語の文法と語彙の知識を広げて、生徒の英語を話すスキルを向上させることです。生徒はより流暢な英語で会話できるようになります。				
授業概要	It is always important to be able to express yourself efficiently. This can be difficult when conversing in a different language. This class will teach you how to research and talk about difficult topics in English. 自分自身を効率的に表現できることは常に重要です。異なる言語で会話する場合、これは難しい場合があります。このクラスでは、英語で難しいトピックについて調べたり話したりする方法を学びます。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	Debate	
	2	オリエンテーション	20	Picking Discussion Topic	
	3	オリエンテーション	21	Research Help	
	4	What is debate?	22	Research Help	
	5	How to Debate	23	Debate Practice	
	6	World News	24	Debate	
	7	World News	25	Picking Discussion Topic	
	8	How to Research	26	Research Help	
	9	How to Research	27	Research Help	
	10	Picking Discussion Topics	28	Debate Practice	
	11	Research Help	29	Debate	
	12	Research Help	30	Picking Discussion Topic	
	13	Debate Practice	31	Research Help	
	14	Debate	32	Research Help	
	15	Picking Discussion Topics	33	Debate Practice	
	16	Research Help	34	Debate	
	17	Research Help	35	Debate Review	
18	Debate Practice	36	Debate Review		
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades will be submitted at the end of the semester. S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.				

## シラバス

科目名	姉妹校プログラムⅡ		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	テクノスのアセットである姉妹校との繋がりを最大限に利用し、グローバルな情報リテラシーを高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	IWやOnlineセッションの後もSNSなどで姉妹校学生と繋がり、実際の渡航・留学で対面したいと思っている。				
授業概要	”前期はIWのための姉妹校研究、受け入れ準備、充実したプログラムを実施。 後期は英語キャリア科と姉妹校のセッションを計画、実行する。”				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	これまでの姉妹校プロジェクト	19	セッション準備	
	2	姉妹校を調べよう①	20	セッション準備	
	3	姉妹校を調べよう②	21	セッション準備	
	4	IW準備①	22	セッション準備	
	5	IW準備②	23	姉妹校とのセッション(HWS)	
	6	IW準備③	24	セッション準備	
	7	IW準備④	25	セッション準備	
	8	IW本番①	26	セッション準備	
	9	IW本番②	27	セッション準備	
	10	IW反省会	28	セッション準備	
	11	IW反省会	29	セッション準備	
	12	次のプロジェクトについての計画	30	姉妹校とのセッション(Pembroke)	
	13	次のプロジェクトについての計画	31	セッション準備	
	14	セッション準備	32	セッション準備	
	15	セッション準備	33	セッション準備	
	16	セッション準備	34	セッション準備	
	17	セッション準備	35	姉妹校のセッション(Hope)	
18	姉妹校とのセッション(AUT)	36	まとめ		
成 績 割 合	テスト		学習FB方法	年度末の成績表交付による	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	キャリア探究Ⅱ		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自分の進路以外の領域に目を向け、広く社会を知る。コラボする力、多面的な視野を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業界地図に掲載されている業界(領域)の半数の業界構造、主要商品が理解できている。				
授業概要	各業界や領域のビジネスパーソン・経験者から、業界の概要、特徴、ビジネスモデル、現状と今後の展望、代表企業や関連図、他領域との繋がりなどの知識をつける。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション、授業概要説明、産業分野への理解	19	後期オリエンテーション	
	2	業界サーチ①	20	業界サーチ⑩	
	3	業界サーチ②	21	業界サーチ⑪	
	4	業界サーチ③	22	業界サーチ⑫	
	5	業界サーチ④	23	業界サーチ⑬	
	6	就職活動のヒント	24	就職活動のヒント	
	7	業界サーチ⑤	25	業界サーチ⑭	
	8	業界サーチ⑥	26	業界サーチ⑮	
	9	業界サーチ⑦	27	業界サーチ⑯	
	10	業界サーチ⑧	28	業界サーチ⑰	
	11	業界サーチ⑨	29	業界サーチ⑱	
	12	業界サーチ⑩	30	業界サーチ⑲	
	13	業界サーチ⑪	31	就職活動のヒント	
	14	業界サーチ⑫	32	業界サーチ⑳	
	15	業界サーチ⑬	33	業界サーチ㉑	
	16	業界サーチ⑭	34	自分が目指す業界サーチ①	
	17	業界サーチ⑮	35	自分が目指す業界サーチ②	
	18	前期まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト		学習FB方法	年度末の成績表交付による	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	30%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	スペイン語Ⅱ		担当者名	アラウコ サイラ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	スペイン語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"スペイン語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。"				
授業概要	単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	"第1課(名詞+です) 自己紹介"	19	第11課(過去形)	
	2	"第1課(名詞+です) 第2課(名詞+ですの否定文)"	20	第11課(過去形)	
	3	第2課("名詞+です"の否定文)	21	第11課(過去形)	
	4	第3課(こ・そ・あ、名詞+です)	22	第12課(敬語表現-現在)	
	5	第3課(こ・そ・あ、名詞+です、否定文)	23	第13課(敬語表現-過去形)	
	6	"第4課(ある・いる)	24	"第12課(敬語表現-現在) 第13課(敬語表現-過去形)"	
	7	"第4課(ある・いる) 第5課(位置を表す表現)"	25	文型	
	8	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現)	26	文型	
	9	第6課(動詞・形容詞)	27	テスト対策、予備日	
	10	第6課(動詞・形容詞)	28	テスト	
	11	第7課(動詞・形容詞の否定文)	29	テスト振り返り	
	12	テスト対策、予備日	30	まとめ	
	13	第8課(数詞)	31		
	14	第9課(動詞・形容詞)	32		
	15	第9課(動詞・形容詞)	33		
	16	第9課(動詞・形容詞)	34		
	17	第10課(固有数詞)	35		
18	復習	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール					



## シラバス

科目名	応用ゼミⅡ		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	"ビジネスパークにおける英会話教室実践 学んだ専門知識を活かし、子供たちに楽しく英語を教える 地域の方との交流を深める"				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	テクノスポーツで参加者を松用事を対象に英語教室を開催し、顧客の満足度を高め、収益にも興味を持つようになる				
授業概要	"前期は準備期間として、ビジネスパークの意義・起業の基礎・テクノスポーツのモデルケースを参考にして計画を立てる。 後期からは本格稼働し、指導・運営・広報に分かれてビジネスを展開する。"				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	2	大手英会話学校を徹底的に調べよう!(すべての対象者)	20	振り返りと次回準備	
	3	大手英会話学校を徹底的に調べよう!(未就学児)	21	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	4	テクノスポーツに学ぶ(スポーツ学生)	22	振り返りと次回準備	
	5	テクノスポーツに学ぶ(米林先生)	23	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	6	指導・運営に必要なことの復習	24	振り返りと次回準備	
	7	英語教室に必要なこと①	25	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	8	英語教室に必要なこと②	26	振り返りと次回準備	
	9	英語教室に必要なこと③	27	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	10	英語教室に必要なこと④	28	振り返りと次回準備	
	11	こどもの扱い方とは	29	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	12	こどもの接し方・保護者対応について(亀山先生)	30	振り返りと次回準備	
	13	英語教室構想①	31	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	14	英語教室構想②	32	振り返りと次回準備	
	15	チラシ作成	33	ビジネスパーク・英語教室開催(体験)	
	16	配布・保護者へのアプローチ	34	振り返りと次回準備	
	17	授業内容調整・部屋や小物準備①	35	1年間のまとめ①	
18	授業内容調整・部屋や小物準備②	36	1年間のまとめ②		
成績割合	テスト		学習FB方法	年度末の成績表交付による	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	Assisted Study II B		担当者名	Jina McCullough	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	This class is designed to provide students with assistance for their other English language classes. このクラスは、学生が他の英語クラスを支援できるように設計されています。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	This goal of this class is to help students with other subjects. This class is specifically for providing extra time for extra help from a native English speaker. このクラスのこの目標は、学生が他の科目を学ぶのを助けることです。このクラスは、英語を母国語とする人からの追加のヘルプのために特別な時間を提供するためのものです。				
授業概要	Each class will provide students with much needed one to one time with a native English speaker to assist with assignments from other classes. 各クラスは、他のクラスの課題を支援するために、ネイティブの英語スピーカーと1対1の時間を学生に提供します。				
授業 計画 表		授業内容		授業内容	
	1	Assited Study	19	Assited Study	
	2	Assited Study	20	Assited Study	
	3	Assited Study	21	Assited Study	
	4	Assited Study	22	Assited Study	
	5	Assited Study	23	Assited Study	
	6	Assited Study	24	Assited Study	
	7	Assited Study	25	Assited Study	
	8	Assited Study	26	Assited Study	
	9	Assited Study	27	Assited Study	
	10	Assited Study	28	Assited Study	
	11	Assited Study	29	Assited Study	
	12	Assited Study	30	Assited Study	
	13	Assited Study	31	Assited Study	
	14	Assited Study	32	Assited Study	
	15	Assited Study	33	Assited Study	
	16	Assited Study	34	Assited Study	
	17	Assited Study	35	Assited Study	
	18	Assited Study	36	Assited Study	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.				

## シラバス

科目名	Assisted Study II A		担当者名	スライタスノバ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	This course will help students for improving their business related terms and vocabularies as upper intermediate learners.				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	It would be helpful for students to be familiar with business world and their activities, before starting their professional carriers and for those already working who need english in their job.				
授業概要	In addition. to improve business vocabularies, this course will help to develop the language needed for important business communication skills.				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Text book name: Business Vocabulary in Use by Bill Mascull	19	Inputs, outsourcing and exercises	
	2	Types of jobs and words combinations with work and exercises.	20	customization, wkinomics, long tail, benchmark and exercises	
	3	Working hours, nature of work and exercises	21	Customers, clients, buyers, vendors, market and exercises	
	4	applying for job, selection procedures and exercises	22	companies, market, competitors, competition and exercises	
	5	Education, training, skilled and unskilled and exercises	23	Marketing, market orientation, 4 ps and exercises	
	6	Wage, salary and benefits, compensation and exercises	24	Products, brands, branding and exercises	
	7	Employees, management, administration and related exercises	25	Pricing, upmarket, down market, mass market, niches and exercise	
	8	Career paths, company structure, in house stuff and exercises	26	A distribution network, type of shops and exercises	
	9	Discrimination, bullying, harassment, safety and exercises	27	Advertising and promotional activities and exercises	
	10	Managers and executives at different countries and exercises	28	E-commerce companies and related terms web 2.0 and exercises	
	11	Businesspeople, entrepreneur, leadership and exercises	29	different costs, sales, margins and mark -ups and exercises	
	12	Corporate, commerce, enterprise and exercises	30	Budgets, expenditure, economic scale, curve and exercises	
	13	Partnerships, liabilities, NPO and exercises	31	shipping, billing, credit, accounts and exercises	
	14	Manufacturing and services according to countries and industries	32	type of assets, depreciation, liabilities, balance sheet	
	15	Market research, development, launch and exercises	33	Results and financial reports and exercises	
	16	Research, technology, patents and intellectual property	34	Type of capital, security, leverage and exercises	
	17	Mass production, capacity, output and exercises	35	cash and debt problems, bailouts, bankruptcy and exercises	
	18	It could be report writing or exam	36	It could be report writing or exam	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<< 課題解決型学習 >>30% R<< 実働実践型学習 >>20% A<< 主体的参加型学習 >>20% G<< 海外体感型学習 >>30%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	TOEIC II B		担当者名	鈴木とも子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	TOEICの学習を通して、自然な英語に慣れ、英語の基礎力、理解力を高める事、また、TOEICのスキルを通して効率よく情報処理を行うコツを身に着ける事。実際のTOEICテストに最も近い、公式問題集のL&R8を前期に、L&R5を後期に使用、他のバージョンの公式問題集も取り入れ演習を多く行っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEICスコア700点突破を目標に、学習法を身に着ける事で、更に自習でスコアを伸ばすことが出来る様になり英語でビジネスが出来る為の基礎力を養う事が出来る様になる事				
授業概要	ピッチ調整をした音声での、遅聴、速聴、シャドウイングを行う事で、脳の音声処理の機能を鍛えるトレーニングを行う。発音、リテンション(音声記憶保持)の改善から、英語の音声がかえ、理解できる様に指導する。また、TOEICの語彙を確認しながら、沢山の問題に慣れる事で、英語の情報処理のスピードを高める様に指導を行う。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	19	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	
	2	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	20	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	
	3	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	21	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	
	4	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	22	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	5	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	23	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	6	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	24	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	7	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	25	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	
	8	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習と part6 Reading問題演習。	26	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	9	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習と part6 Reading問題演習。	27	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	10	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	28	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	11	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	29	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	
	12	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	30	L&Rの復習 後期学期末テスト&カウンセリング	
	13	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	31		
	14	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	32		
	15	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	33		
	16	前期末試験&学習カウンセリング	34		
	17	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルパッセージ問題演習。	35		
18	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	36			
成績割合	テスト	40点 前期期末テスト+後期期末テストのスコアを40点	学習FB方法	成績評価	期末テストの際、カウンセリング時間を一人ずつ設け、同時に待ち時間で感想と目標を書いて貰っている。
	学習態度・出席率	20点 出席、宿題等、参加しているかどうかを合計で判断			
	レポート	30点 これまでのTOEICのスコアの結果、受験回数、模擬テストで実力と努力を評価			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	(主な指導経験) TOEIC学習法セミナー、TOEICスコアアップセミナーを中心に、TOEIC SWコース等様々な英語セミナーを、楽天、KDDI、NTT、東レ、日産、富士通、日立、電通、日本工営、みずほコーポレート銀行で、また、立教大学、法政大学、明治大学、武蔵野大学、立正大学、西武文理大学等の教育機関でも、TOEICスコアアップ指導を行って来ました。(主な取				

## シラバス

科目名	TOEIC II A		担当者名	鈴木 良	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	1年次で学んだ TOEIC テストのスキルをもう一度復習をし、全員が確実にスコア 600 を超える力をつける。リスニングは Part 1 から Part 4 まで難易度の高い問題でも解けるようにし、リーディングは読解力・スピード両方の向上を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 全員がTOEIC のリスニング 350(100問中約75問正解)以上、リーディング 250(100問中約55問正解)以上を取得できるようにする。2. リスニングでは、特に Part 2, Part 3, Part 4 の基本的な解き方を習得する。3. 品詞、文構造、TOEIC 頻出度上位600語句等、リーディング、特に Part 5, Part 6 にスコアアップに寄与する対策を集中的に行う。				
授業概要	実際の TOEIC L&R テストに近い問題を使用し、演習を行う。基礎的な単語を身につけるため、毎回単語小テストを行う。また英語学習に対するモチベーションを維持するため、問題に絡めて様々なアクティビティーを行う。学習効果を最大限に高めるためには、毎週の単語テストの準備を疎かにせず、しっかり宿題を行い次の授業への準備を行い、授業後は解いた問題を自分で復習することが極めて大事である。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の説明・目標、トレーニング(リスニング) S1 Parts 1-2	19	Vocabulary exam 3、トレーニング(リスニング) S14、トレーニング(リーディング) S7 Part 5	
	2	トレーニング(リスニング) S1 Parts 3-4	20	トレーニング(リスニング) S15、トレーニング(リーディング) S8 Part 5	
	3	トレーニング(リスニング) S2、500+ドリル Set 1	21	トレーニング(リスニング) S16、トレーニング(リーディング) S9 Part 5	
	4	トレーニング(リスニング) S3、500+ドリル Set 2	22	トレーニング(リスニング) S17、トレーニング(リーディング) S10 Part 5	
	5	トレーニング(リスニング) S4、500+ドリル Set 3	23	トレーニング(リスニング) S18、トレーニング(リーディング) S11 Part 5	
	6	Vocabulary exam 1、トレーニング(リスニング) S5、500+ドリル Set 4	24	Vocabulary exam 4、トレーニング(リスニング) S19、トレーニング(リーディング) S12 Part 5	
	7	トレーニング(リスニング) S6、500+ドリル Set 5	25	トレーニング(リスニング) S20、トレーニング(リーディング) S13 Part 5	
	8	予備 (IW)	26	プラクティス(リスニング) U15「図表と関連付けて聞く」、トレーニング(リーディング) S14 Part 5	
	9	予備 (IW)	27	模試(リスニング)、トレーニング(リーディング) S15 Part 5	
	10	トレーニング(リスニング) S7、トレーニング(リーディング) S1 Part 5	28	模試(リーディング)	
	11	Vocabulary exam 2、トレーニング(リスニング) S8、トレーニング(リーディング) S2 Part 5	29	プラクティス(リスニング) U20「図表と関連付けて聞く」、トレーニング(リーディング) S16 Part 5	
	12	模試(リスニング)、トレーニング(リーディング) S3 Part 5	30	プラクティス(リスニング) Mini Test 1、トレーニング(リーディング) S17 Part 5	
	13	模試(リーディング)	31	Vocabulary exam 5、Mini Test 2、トレーニング(リーディング) S18 Part 5	
	14	トレーニング(リスニング) S9、トレーニング(リーディング) S4 Part 5	32	Mini Test 3、トレーニング(リーディング) S19 Part 5	
	15	トレーニング(リスニング) S11、トレーニング(リーディング) S5 Part 5	33	Mini Test 4、トレーニング(リーディング) S20 Part 5	
	16	まとめ	34	まとめ	
	17	前期期末試験、トレーニング(リスニング) S12	35	後期期末試験	
18	トレーニング(リスニング) S13、トレーニング(リーディング) S6 Part 5	36	Vocabulary exam 6、試験返却		
成績割合	テスト	10%(学期末)、50%(単語小テスト+単語試験)	学習FB方法	Microsoft Teams	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	30%	成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テストスコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

## シラバス

科目名	英会話ⅡB		担当者名	CHAN ERNEST	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。				
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A	
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B	
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C	
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D	
	5	Speaking Test	23	Speaking Test	
	6	Speaking Test	24	Speaking Test	
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A	
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B	
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C	
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D	
	11	Speaking Test	29	Speaking Test	
	12	Speaking Test	30	Speaking Test	
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A	
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B	
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C	
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D	
	17	Speaking Test	35	Speaking Test	
18	Speaking Test	36	Speaking Test		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.				

## シラバス

科目名	英会話ⅡA		担当者名	G.McArdle		
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習		
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A		
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B		
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C		
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D		
	5	Speaking Test	23	Speaking Test		
	6	Speaking Test	24	Speaking Test		
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A		
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B		
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C		
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D		
	11	Speaking Test	29	Speaking Test		
	12	Speaking Test	30	Speaking Test		
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A		
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B		
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C		
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D		
	17	Speaking Test	35	Speaking Test		
18	Speaking Test	36	Speaking Test			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール						

## シラバス

科目名	IELTS II		担当者名	柳町 啓介	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	各学生毎の現時点のIELTSスコアの把握、自身に合った学習法の会得及びスコアの飛躍を目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	教養が求められるIELTS独自の出題形式に慣れ親しみ、試験に臆することなく立ち向かうことが出来る。自身のIELTSスコア結果から強み/弱みを把握し、自身に合った今後の学習計画の立案に資する。併せて、修学後も自力で学習可能なREADINGとWRITINGの継続的学習の習慣を涵養する。				
授業概要	IELTSの4つのパーツを満遍なくカバーする。特にREADINGとWRITINGにやや重点を置くことで、将来的にLISTENINGとSPEAKINGの得点力飛躍の基礎を作る。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	IELTSとは？ 出題形式、試験時間、出題分野、特徴、心構え	19	READING HEADING (選択問題タイトル)	
	2	SPEAKING & WRITING ARGUMENT (論理の展開)	20	READING MATCHING (内容一致問題)	
	3	SPEAKING & WRITING COHERENCE (論理の一貫性)	21	READING SUMMARY COMPLETION (空所補充問題)	
	4	SPEAKING & WRITING COHESION (意味上の連続性)	22	READING EXERCISE OF PASSAGE 1 (論文エッセー1練習)	
	5	SPEAKING & WRITING VOCABULARY (語彙力)	23	READING EXERCISE OF PASSAGE 2 (論文エッセー2練習)	
	6	SPEAKING & WRITING SIMPLE/COMPLEX SENTENCES (単文/複文)	24	READING EXERCISE OF PASSAGE 3 (論文エッセー3練習)	
	7	WRITINGとは？ TASK 1 & TASK 2出題分野の説明	25	SPEAKINGとは？ 3つのPARTS、出題内容の説明	
	8	WRITING TASK 1 LINE GRAPH (折れ線グラフ、円グラフ)	26	SPEAKING PART 1 (質疑応答)	
	9	WRITING TASK 1 PIE CHART, BAR CHART (棒グラフ、表、2つのグラフ)	27	SPEAKING PART 2 (スピーチ) 1	
	10	WRITING TASK 1 MAP DIAGRAM (地図)	28	SPEAKING PART 2 (スピーチ) 2	
	11	WRITING TASK 1 PROCESS DIAGRAM/FLOW CHART (行程、流れ)	29	SPEAKING PART 3 (ディスカッション) 1	
	12	WRITING TASK 2とは？ 論理的に考え、書くとは何か？	30	SPEAKING PART 3 (ディスカッション) 2	
	13	WRITING TASK 2 ARGUMENTATIVE 1 (議論・論争)	31	LISTENINGとは？ 4つのPARTS、出題内容の説明	
	14	WRITING TASK 2 DISCUSSION (ディスカッション)	32	LISTENING PART 1 (2人の会話)	
	15	WRITING TASK 2 TWO-QUESTION (2つの質問)	33	LISTENING PART 2 (大学での日常会話)	
	16	READINGとは？ 3つのPASSAGES、出題分野の説明	34	LISTENING PART 3 (大学での討議)	
	17	READING MULTIPLE CHOICE (択一式問題)	35	LISTENING PART 4 (アカデミックな講義)	
18	READING NOT GIVEN (内容正誤問題)	36	IELTS受験の注意点を伝授 精神力、体力づくりなど		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>70%				
講師プロフィール	IELTS発祥の地である英国の大学院修士課程修了後、米国外資不動産企業勤務。不動産市場アナリストとして四半期毎に世界に向けて多岐にわたる英文の市場レポートを執筆、海外投資家に向けて英語による不動産セミナーに定期的に登壇。				



シラバス

科目名	異文化コミュニケーション II		担当者名	富手 貴子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	1. 異なる文化的背景や価値観を持つ他者を知り、異文化への興味・関心を広げ、多様な背景を持つ人々と良好なコミュニケーションを図るための能力やスキル、寛容な態度を養う。 2. 国際社会や国際ビジネス、訪日外国人に目を向け、これからの多文化共生社会における専門的職業人としての素養と自覚を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 異文化や国際社会に興味・関心をもって、寛容な心と態度で柔軟に対応するとともに、自分の意見を発信できるコミュニケーション力を身につけている。 2. 異文化コミュニケーションや訪日外国客接遇の基礎的な知識を習得し、それらの意義を理解し、自身のキャリアへの活かし方を考えることができる。				
授業概要	1. 国家間や人種の違いだけでなく世代や立場の違いなどを文化差と捉え、異文化摩擦の原因や対処法の理論を理解するのみならず、体験的に身につけていくことができるように、具体的な異文化接触場面の事例を取り上げ、ディスカッションやアクティビティなどの活動を行う。この活動の過程で、異文化トレーニングの手法や、効果的なコミュニケーションの方法を学び、実践する。 2. 国際的な話題(国内外の動向や社会問題、経済やビジネス、旅行・観光やポップカルチャーなど)に幅広く触れ、国際的なコミュニケーション文化を知るとともに、国際社会や国際ビジネス、訪日外国人への興味・関心を高める。 3. 外客接遇の基礎知識を一部に取り入れ、職業観の醸成と、就職後のより満足度の高い接遇につなげる。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	訪日外国人旅行者接遇の基礎②	
	2	オリエンテーション②	20	訪日外国人旅行者接遇の基礎③	
	3	異文化コミュニケーションとは①	21	異文化コミュニケーション・トレーニング①	
	4	異文化コミュニケーションとは②	22	異文化コミュニケーション・トレーニング②	
	5	異文化コミュニケーションとは③	23	アイデンティティ①	
	6	異文化コミュニケーションとは④	24	アイデンティティ②	
	7	コミュニケーション・スタイル①	25	グローバル・コミュニケーション①	
	8	コミュニケーション・スタイル②	26	グローバル・コミュニケーション②	
	9	ものの見方を広げる①	27	多文化共生ワーク②	
	10	ものの見方を広げる②	28	国民文化①	
	11	異文化コミュニケーション・スキル①	29	国民文化②	
	12	異文化コミュニケーション・スキル②	30	国民文化③	
	13	多文化共生ワーク①	31	日本の話題・世界の話題①	
	14	言語・非言語コミュニケーション①	32	日本の話題・世界の話題②	
	15	言語・非言語コミュニケーション②	33	日本の話題・世界の話題③	
	16	発表準備	34	まとめ	
	17	発表&フィードバック	35	期末試験	
18	訪日外国人旅行者接遇の基礎①	36	振り返り		
成績割合	テスト	40(テスト・小テスト・発表等)	学習FB方法	授業への出席、ワークやアクティビティの参加度、態度、提出物、テスト、小テスト、発表等で総合的に評価する。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30(レポート・振り返り等・提出物)	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>80				
講師プロフィール	前職ではグローバルIT企業のコーポレート戦略総括本部にてインターナル・コミュニケーション、前々職では大手日系IT企業にて全社グローバル人材育成施策の企画・運営、研修設計・開発を担当。20代前半から海外に計15年間滞在。オーストラリアではツアーガイドとしてトップセールス、カナダでは現地ホテル勤務の傍らで、日系企業の現地新規事業企画・立ち上げを単独で行う。プライベートでは、学生時代から多数の国際交流ボランティア活動、中国で3か月間のインターンシップ、1年間の世界一周ひとり旅経験あり。カナダの高校卒業単位取得時には、主席卒業でカナダ総督よりメダル授与。帰国後、高等学校教員免許(英語)取得。				

シラバス

科目名	韓国語 II		担当者名	李尚炫	
学科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	韓国語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	韓国語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。				
授業概要	韓国語の文字の仕組みを理解した上で単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。 テキスト：新大久保語学院, 李志暎『新装版 できる韓国語 初級I』2010, DEKIRU出版				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 文字の文字と発音-文字の成り立ち, 基本母音	19	第9課(動詞・形容詞の「ㄹ体」)	
	2	文字の文字と発音-子音、平音・激音・濃音 文字の文字と発音-パッチム	20	第10課(固有語数詞)	
	3	文字の文字と発音-合成母音	21	第8課(漢字語数詞)、第10課(固有語数詞)	
	4	第1課(名詞+です「입니다」) 自己紹介	22	第11課(過去形)	
	5	第1課(名詞+です「입니다」) 第2課(名詞+ですの否定文「이/가 아닙니다」)	23	第11課(過去形)	
	6	第2課(「名詞+です」の否定文)	24	第11課(過去形)	
	7	第3課(こ・そ・あ、名詞+ですの「ㄹ体」)	25	第12課(敬語表現-現在)	
	8	第3課(こ・そ・あ、名詞+ですの「ㄹ体」、その否定文)	26	第13課(敬語表現-過去形)	
	9	第4課(ある・いる「있습니다/없습니다」) (ある・いる「있어요/없어요」)	27	第12課(敬語表現-現在) 第13課(敬語表現-過去形)	
	10	第4課(ある・いる「있어요/없어요」) 第5課(位置を表す表現)	28	韓国語文型の3つのグループ	
	11	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다」)	29	テスト対策、予備日	
	12	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다」)	30	テスト返し/振り返し	
	13	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다」)	31		
	14	第7課(動詞・形容詞の否定文)	32		
	15	テスト対策、予備日	33		
	16	第8課(漢字語数詞)	34		
	17	第9課(動詞・形容詞の「ㄹ体」)	35		
18	第9課(動詞・形容詞の「ㄹ体」)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69点 D:59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	一橋大学大学院 言語社会研究科 博士課程修了 一橋大学大学院 言語社会研究科 特別研究員				

## シラバス

科目名	ビジネススキル II		担当者名	松川 はるみ	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	卒業ビジョンを描き、磨き、叶えるために、基本的なビジネススキル・グローバル感覚を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的な卒業ビジョンを描き、それに向かってテクノスのアセットを十分に活用している。社会人基礎力をつけて、就職後も卒業ビジョンを磨く姿勢を持ち続けていく。				
授業概要					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	テクノス祭準備	
	2	就職活動について+個人面談	20	テクノス祭準備	
	3	就職活動について+個人面談	21	テクノス祭準備	
	4	就職活動について+個人面談	22	テクノス祭準備	
	5	目指す業界の未来を考える&個別面談	23	テクノス祭準備	
	6	目指す業界の未来を考える&個別面談	24	テクノス祭準備	
	7	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	25	テクノス祭準備	
	8	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	海外で働く先輩について	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	一般常識ワーク&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	一般常識ワーク&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	グループワーク	31	グループワーク	
	14	グループワーク	32	グループワーク	
	15	グループワーク	33	社会人人心構え	
	16	グローバルに活躍するとは	34	社会人人心構え	
	17	グローバルに活躍するとは	35	テクノス展準備	
18	前期 振り返り	36	テクノス展準備		
成績割合	テスト		学習FB方法	授業内または面談にてFB	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	パソコン実習Ⅱ		担当者名	千葉 輝子	
学 科	英語キャリア科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る)</li> <li>・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表</li> <li>・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける</li> </ul>				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	2	ガイダンス	20	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	3	ガイダンス	21	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	4	科目ガイダンス	22	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	5	Power Pointの基本操作/スライドの作成(アウトライン表示)	23	課題(計算、表の装飾)	
	6	スライドの作成 図形描画	24	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	7	スライドの作成 グラフ・SmartArt	25	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	8	スライドの作成 表・画像の挿入	26	表作成課題(IF関数)	
	9	画像の編集(トリミング、彩度、明るさの変更等)・背景の設定(テーマ、背景画像 等)	27	グラフ作成の基本	
	10	発表用原稿、配布資料について、アニメーション・画面切り替え	28	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	11	プレゼン課題(検定試験サンプル問題)	29	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	12	プレゼン小テスト(検定試験サンプル問題)	30	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	13	各自プレゼン発表用資料作成	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	14	各自プレゼン発表用資料作成	32	後期期末試験	
	15	各自プレゼン発表用資料作成	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	各自プレゼン発表用資料作成	34	ガイダンス	
	17	各自プレゼン発表用資料作成	35	ガイダンス	
18	前期期末試験 プレゼン発表/前期振り返り	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	当社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の出入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

## シラバス

科目名	Current Events II		担当者名	CHAN ERNEST	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	to gain a better understanding of the world by studying world news using English vocabulary				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	to develop the ability to empathize, discuss, and give opinions about current events				
授業概要	Breaking News English, discussions, debate, opinions				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Breaking News English	19	Breaking News English	
	2	Breaking News English	20	Breaking News English	
	3	Breaking News English	21	Breaking News English	
	4	Breaking News English	22	Breaking News English	
	5	Breaking News English	23	Breaking News English	
	6	Breaking News English	24	Breaking News English	
	7	Breaking News English	25	Breaking News English	
	8	Breaking News English	26	Breaking News English	
	9	Breaking News English	27	Breaking News English	
	10	Breaking News English	28	Breaking News English	
	11	Breaking News English	29	Breaking News English	
	12	Breaking News English	30	Breaking News English	
	13	Breaking News English	31	Breaking News English	
	14	Breaking News English	32	Breaking News English	
	15	Breaking News English	33	Breaking News English	
	16	Breaking News English	34	Breaking News English	
	17	Breaking News English	35	Breaking News English	
	18	Breaking News English	36	Breaking News English	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	teacher is Canadian; 14 years experience				

## シラバス

科目名	Public Speaking II		担当者名	Jina McCullough	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	This class encourages students to use their english skills to present their ideas and opinions in front of an audience. このクラスでは、学生が英語力を使って聴衆の前で自分の考えや意見を発表することを奨励しています。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to improve in their presentation skills, English grammar skills and vocabulary. 学生は、プレゼンテーションスキル、英語の文法スキル、語彙を向上させることができます。				
授業概要	Students in this class are given a topic to write their own opinions and thoughts on. After some stages of preparation the students present in front of the class and evaluated. このクラスの学生は、自分の意見や考えを書くためのトピックを与えられます。いくつかの準備段階の後、学生はクラスのフロントで提示し、評価します。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	Presentation	
	2	Introduce Topic	20	Introduce Topic	
	3	Writing and Practice	21	Writing and Practice	
	4	Presentation	22	Presentation	
	5	Introduce Topic	23	Introduce Topic	
	6	Writing and Practice	24	Writing and Practice	
	7	Presentation	25	Presentation	
	8	Introduce Topic	26	Introduce Topic	
	9	Writing and Practice	27	Writing and Practice	
	10	Presentation	28	Presentation	
	11	Introduce Topic	29	Introduce Topic	
	12	Writing and Practice	30	Writing and Practice	
	13	Presentation	31	Presentation	
	14	Introduce Topic	32	Introduce Topic	
	15	Writing and Practice	33	Writing and Practice	
	16	Presentation	34	Presentation	
	17	Introduce Topic	35	Final Project	
	18	Writing and Practice	36	Final Project	
成績割合	テスト		学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.				

## シラバス

科目名	Intercultural Comm. II		担当者名	G.McArdle	
学 科	英語キャリア科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	learn about other cultures from around the world				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to empathize with other cultures and share ideas				
授業概要	countries, geography, culture, daily life, religion, racism, stereotypes, family, similarities with Japan				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	icebreakers	19	comedy	
	2	canada	20	other religions	
	3	guatemala	21	own country	
	4	cuba	22	editorial pics	
	5	dominican republic	23	racism	
	6	peru	24	stereotypes	
	7	morocco	25	dating	
	8	spain	26	family	
	9	france	27	country profile project	
	10	australia	28	country profile project	
	11	hong kong	29	country profile presentation	
	12	taiwan	30	country profile presentation	
	13	korea	31	essay writing about differences	
	14	judaism	32	essay writing about differences	
	15	christianity	33	essay writing about differences	
	16	islam	34	make a kahoot	
	17	movies	35	make a kahoot	
18	review test	36	review test		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	
	学習態度・出席率		20%		
	レポート		80%	成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	Business Conversation II		担当者名	CHAN ERNEST	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	learn how to speak in business environment				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	develop the ability to speak in a business environment				
授業概要	business vocabulary, grammar, email, phone, professional speech, interviews Textbook : English at Work 3 Student Book with MP3 Audio (Cengage Learning)				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	icebreakers	19	unit 6	
	2	unit 1	20	unit 7	
	3	unit 1	21	unit 7	
	4	unit 1	22	unit 7	
	5	unit 2	23	unit 8	
	6	unit 2	24	unit 8	
	7	unit 2	25	unit 8	
	8	unit 3	26	unit 9	
	9	unit 3	27	unit 9	
	10	unit 3	28	unit 9	
	11	unit 4	29	unit 10	
	12	unit 4	30	unit 10	
	13	unit 4	31	unit 10	
	14	unit 5	32	unit 11	
	15	unit 5	33	unit 11	
	16	unit 5	34	unit 11	
	17	unit 6	35	unit 12	
	18	unit 6	36	unit 12	
成績割合	テスト		%	学習FB方法	
	学習態度・出席率		50%		
	レポート		50%	成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	teacher is Canadian; 14 years experience				



## シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川 奏恵	
学 科	英語キャリア科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就活力を身につける</li> <li>■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける</li> <li>■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる</li> </ul>				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				